

【児童への話】

9月も下旬に入りました。先週までの暑さが今週からだいぶ和らぎそうな天気予報が出ていて、暑さに弱い校長先生は本当に嬉しいです。今週も時間の大切さを意識して、ゆとりをもって生活できるよう、物事を計画的に進めていってくださいね。また、あいさつについて、自分を振り返って改善する時間を設けてみてください。

さて今日は、「日本語の難しさとすばらしさ」について、お話しします。

まず、これから見せる文を読んでみてください。ただし、口に出してはいけません。心の中でじっくり読んでください。1年生も、読める部分を読んでくださいね。これです。

「今日の日曜日は学校がある日だから、明日のふりかえ休日に日記を書こう。」

この文を、ふつうにスラスラ読めた人は手を挙げてください。はい、降ろしてください。

実はこれは、外国の方が読むのはとても難しい文です。なぜか分かりますか？それは、7回も出てくる「日」という漢字の読み方が、全部違うからです。確かめてみてください。

「**きょう**の**に**ちよう**び**はがっこうがある**ひ**だから、**あした**のふりかえきゅう**じつ**に**に**つきをかこう。」で
すね。ぜんぶ読み方が違いました。ちなみに、「今日（きょう）」や「明日（あした）」は、この組合せの
ときだけに読む特別な読み方で、熟字訓といいます。覚えておくと少しお得です。

日本語は、世界にたくさんある言語の中でも、かなり難しいと言われている言語です。それには、よく言われる2つの理由があります。

ひとつ、日本語を書くときに、漢字とひらがなとカタカナの3種類を使い分けていること。外国の方が見ると、呪文のように見えるそうです。

ふたつ、日本語の言葉そのものの数がとても多いこと。世界の言語の言葉の数は、フランス語で2,000語、英語で3,000語、ドイツ語でも5,000語と言われていますが、日本語は、なんと10,000語以上あるとされています。耳に聞こえる音が同じ読みでも、違う意味だったり違う文字だったりするので、外国の方が日本語を勉強するときにとて難しく感じるそうです。日本語って、私たちは何気なく使っていますが、実はとても難しい言葉なんですね。

そんな日本語ですが、その難しさと表現の豊かさのぶん、上手に使えるようになると、自分の気持ちをよりしっかりと伝えたり、相手の心がよりよく分かったり、長い間人の心を打ち続ける文学や詩、話芸を生み出したりすることができる、とても優れた言語です。落五小の皆さんは、正しい日本語を身に付けられるよう、学習をしっかりとするとともに、お友だちや先生と話すときの言葉に気を付けるようにしてください。美しい表情、美しい心は、美しい言葉から生まれます。よく覚えておいてください。

今日は、「日本語の難しさとすばらしさ」についてお話ししました。

【本講話について】

本校では本年度、「自分の思いをもち、考えをつなげたり広げたりすることができる児童の育成 ～対話的活動を通して～」を研究テーマとして校内研究を進めています。各教科の学習の中で、多くの正しい言葉を身に付け、それを用いて自分の考えを表現することで、思考をより磨き上げ世界を広げる児童を増やしていきたいと考えています。子どもを取り巻く大人自身がまず、穏やかで丁寧な言葉づかいで児童と接することが何よりも大切です。あいさつを含め、地域全体にステキな言葉が溢れるといいですね。

また、今週末は金管バンドのジョイントコンサートが落二中で開催となります。子どもたちの熱演が今から楽しみで仕方ありません。頑張り！落五の子どもたち！